

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）
分担研究報告書

中性脂肪蓄積心筋血管症の診療体制の構築に関する研究

研究分担者 東 将浩 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
放射線診断科 職員研修部長

研究要旨

ワークステーションを用い、正常冠動脈群と動脈硬化性疾患群について CT での冠動脈壁を評価した。正常冠動脈群は動脈硬化性疾患群と比較して低濃度壁の割合が小さい傾向が見られたが、両群間の重なりは大きかった。いずれも TGCV 群とは小さい傾向にあり本法による壁性状評価は、TGCV の診断に貢献する可能性がある。

A. 研究目的

中性脂肪蓄積心筋血管症（TGCV）の冠動脈壁を、CT で評価する。対象となる、動脈硬化性疾患の冠動脈壁を計測する

では、動脈硬化性疾患群と正常冠動脈群の重なりが見られたが、ともに低値を示す傾向があり、TGCV 診断の可能性が示唆された。

B. 研究方法

市販のワークステーションを用い、冠動脈の壁性状を、CT 値を指標として評価し、動脈硬化性疾患群と正常冠動脈群で比較した。

（倫理面への配慮）

当施設の倫理委員会の承認を得て研究を行った。対象患者についてはオプトアウトを実施した。

E. 結論

本法を用いた冠動脈壁評価は、TGCV の診断に貢献する可能性がある。

F. 健康危険情報

該当せず

C. 研究結果

動脈硬化性疾患群は正常群と比較して低濃度壁の割合が高い傾向にあったが、両群間の重なりが見られた。

G. 研究発表

1. 論文発表

東 将浩、平野賢一 中性脂肪蓄積心筋血管症 画像診断. 2021;41: 428-429

2. 学会発表

なし

D. 考察

ワークステーションによる壁性状評価

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

- なし
- 2. 実用新案登録
 - なし
- 3. その他
 - なし